

平成 25 年 8 月 9 日 16:00 現在
中国地方整備局 災害対策本部

平成 25 年 7 月 28 日 豪雨による中国地方整備局管内の体制及び災害状況等

1. 本部体制

- ・平成 25 年 7 月 28 日 9 時 10 分
災害対策本部（風水害）を設置。注意体制。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 11 時 05 分
災害対策本部内に支援連絡室を設置。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 12 時 20 分
警戒体制に移行。
- ・各班の状況
河川班は 7 月 28 日 9 時 10 分に注意体制を発令し、以降継続中。
道路班は国道 191 号山口県萩市須佐地内の通行止めを 8 月 5 日 6 時 00 分に解除し、片側交互通行により交通開放したため、警戒体制から注意体制に移行。

2. 中国管内での気象警報・注意報発令状況

- 島根県
現時点で警報発令なし。
- 山口県
現時点で警報発令なし。

3. 中国地方整備局管内各事務所、ダム管理所の防災体制状況

- 警戒体制以上
- ・中国技術事務所 警戒体制 7 月 28 日 12 時 20 分発令 本部警戒体制に伴う。
- 注意体制
- ・山口河川国道事務所（道路） 注意体制 8 月 5 日 6 時 00 分
国道 191 号山口県萩市須佐地内の通行止めを 8 月 5 日 6 時 00 分に解除し、片側交互通行により交通開放したため、警戒体制から注意体制に移行。
- ・上記事務所以外 注意体制発令 7 月 31 日 9 時 00 分

支部から TEC-FORCE 隊員及び災害対策用車両等の派遣が想定されるため。

4. リエゾン派遣状況

●島根県

- ・益田土木へ 浜田河川国道事務所より 2 名派遣（7 月 29 日まで）
- ・島根県庁へ 松江国道事務所より 1 名派遣（7 月 29 日まで）
- ・津和野町へ 総務部 1 名、河川部 1 名派遣（8 月 5 日まで）

●山口県

- ・山口県庁へ 山口河川国道事務所より 2 名派遣（7 月 30 日まで）
- ・萩市へ 出雲河川事務所 1 名、用地部 1 名派遣（8 月 5 日まで）
- ・山口市へ 岡山国道事務所 1 名、営繕部 1 名派遣（8 月 4 日まで）
→ 8 月 3 日に市災害対策本部会議に出席し、排水ポンプ車、照明車の要請があれば連絡いただくよう伝え、8 月 4 日に帰還。

5. 中国地方整備局管内各被災状況

●直轄河川

- ・高津川（神田） 28 日 11 時 40 分に避難判断水位（5.00）を超過。
ピーク水位 5.45m。
- ・白上川（内田） 28 日 13 時 40 分に避難判断水位（3.90）を超過。
ピーク水位 4.11m。
- ・高津川水系白上川南田川水門 排水ポンプ車（30m³/min）1 台で 15：00 作業開始。18：10 に休止。21：15 帰還格納。
- ・各河川での巡視の結果、異常なし。

●直轄国道

- 国道 9 号山口市阿東地福上（547.4～549.0km）路面冠水により 28 日 10 時 20 分に通行止め。28 日 19 時 07 分に開放。
- 国道 9 号益田市神田町三星地内～津和野町日原地内で規制雨量に達したため通行止め。28 日 18 時 00 分に開放。
- 国道 9 号山口市阿東地福下箇所にて路肩崩壊のため、29 日 12 時 00 分から通行止め。13 時 30 分に片側通行。
 - ・ 30 日 20:00～翌 5:30 路肩崩落部の大型土のう 120/120 袋設置完了。
 - ・ 31 日 8:00～ 路肩崩落部のブルーシート設置及び大型土のう製作開始。
 - ・ 8 月 3 日 8:00 現在、迂回路の伐採完了。張り出し歩道、防護柵撤去開始。
 - ・ 8 月 4 日 8:00 現在、張り出し歩道、防護柵撤去完了。土工着手。

・8月9日から路盤工に着手。

○国道191号(127.0~143.0km)で冠水、土砂崩落により7月28日11:40から通行止め。

- ・被災状況は道路冠水4箇所、トンネル冠水2箇所、土砂崩落9箇所、道路崩落1箇所、倒木1箇所、放置車両19台。
- ・国道191号道路啓開作業のため、16時30分に山口照明車2台を萩国道出張所へ、20時00分に浜田照明車1台を萩市須佐地内へ派遣指示し、浜田照明車は29日2時00分に帰還。
- ・29日5時30分の状況は、通行止め区間130.0~135.0k。道路崩落1箇所、土砂崩落2箇所。その他箇所については、道路啓開(1車線確保)または復旧済み。16時00分現在で放置車両0台。
- ・30日8時00分応急復旧開始。
- ・31日8:00現在、昨日に引き続き伐採、水路内土砂撤去実施。
- ・31日11:20近畿地整の照明車1台が萩市須佐の現場に到着。
- ・31日15:35中国技術事務所より萩市須佐に向けて対策本部車1台を派遣。19:05現地到着。
- ・31日16:00伐採完了。水路内土砂撤去中。
- ・8月1日8:00現在、水路内の土砂撤去中。完了後、迂回路及び盛土予定。
- ・8月1日15:00仮設カメラ設置。
- ・8月1日16:00現在、迂回路の法尻に土嚢を設置中。
- ・8月2日8:00現在、迂回路の盛土施工中。崩壊部のモルタル吹き付け施工中。
- ・8月3日8:00現在、法尻部仮排水路設置開始。崩落部のラス張り施工中。16:00現在、迂回路の盛土完了。
- ・8月4日8:00現在、舗装施工中。法尻部仮排水路施工中。崩落部の吹き付け施工。
- ・8月5日6:00迂回路を片側交互通行で開放。

●直轄港湾

- ・被害無し。

6. TEC-FORCE 派遣等 29日~

○ヘリコプター上空調査

29日 あいらんど号、きんき号による調査。地整職員7名、島根県職員1名、山口県職員2名搭乗。

30日 あいらんど号による調査 地整職員4名搭乗。

31日 あいらんど号による調査 地整職員2名、島根県職員3名搭乗。

○TEC-FORCE 被災状況調査班

【中国地方整備局】

指令班(2班)、河川班、砂防班、道路班、広報班の計6班 23名派遣

- 29日 8:00 本局災害対策室集合 (防災課より説明、出動準備)
9:00 出発式
11:40 砂防班、広報班 山口国道維持(出)着。情報収集。
11:50 指令班① 山口県庁着 調査箇所棟調整。
11:50 道路班 萩国道(出)着。国道315号道路被災状況確認。
12:20 河川班 山口国道維持(出)着。情報収集。
12:25 指令班② 島根県益田県土整備事務所着。調査箇所等調整。
15:50 指令班①、萩市から道路調査の依頼あり。各班と分担調整。
- 30日 河川班、砂防班、道路班は萩市の須佐地区の被災状況調査を実施中。
指令班①、②については、引き続き各県、市、地整TEC-FORCEとの調整を実施。
- 河川班: 10:00 萩市須佐総合事務所で打合せ後、調査開始。被災延長は5km程度。
- 砂防班: 10:00 萩市須佐地区弥富箇所を調査するが、土石流の発生は見られない。→河川の被災状況調査を実施
- 道路班: 8:30 出張所集合。県より敷地調査結果内容を県より入手し、10:25から国道315号を調査実施。応急復旧方法検討、概算額算出
- 指令班①: 17:00から津和野町で支援内容打合について町建設課、リエゾン、近畿TEC-FORCE指令班と打合せを行う。
- 31日 河川班、砂防班
8:00から萩市須佐地区の河川被災状況調査を実施。
- 道路班
県道宇田須佐線の啓開状況調査実施
国道315号概算額算出作業
- 8月1日 河川班: 萩市須佐総合事務所管内の河川被災状況調査を実施。
砂防班: 萩市須佐総合事務所管内の河川被災状況調査を実施。
道路班: 萩市須佐(唐津)地区の国道315号関係の被災状況調査を実施。
- 第2陣として、河川班(5班)、砂防班(1班)、道路班(4班)、広報班(2班)の計12班43名を派遣(増強)。(9:00本局出発)現地到着後、先遣の指令班①②と調査箇所等について打合せを実施。

- 8月2日 河川班:5班とも萩市須佐総合事務所管内の河川被災状況調査を実施。
砂防班:山口県須佐地区、阿武地区砂防施設点検、被災状況調査を実施。
道路班:萩市須佐(唐津)地区の国道315号関係、宇田須佐線と萩津和野線の大光寺橋調査、津和野町の滝元線、瀧畑線、名賀地区の道路被災状況調査を実施。
- 8月3日 第3陣として、指令班(2班)、河川班、砂防班、道路班、広報班の計6班23名を派遣し(9:00本局出発)、現地到着後、先遣の第1陣と3陣の各班で調査箇所等について打合せを実施。第1陣及び第2陣のうちの1班は帰還。
河川班:萩市須佐地区、津和野町内の河川被災状況調査を実施。
砂防班:萩市須佐地区、阿武町地内の砂防施設点検、被災状況調査を実施。
道路班:萩市内の萩津和野線(県道13号)の大光寺橋被災追加調査、須佐湾高山尾浦線(県道305号)被害状況調査、津和野町名賀地区の道路被災状況調査を実施。
- 8月4日 河川班:萩市須佐地区、津和野町内の河川被災状況調査を実施。
砂防班:萩市須佐地区、阿武町地内の砂防施設点検、被災状況調査を実施。
道路班:萩市須佐地区の道路被災状況調査(県道305号)、津和野町名賀地区の道路被災状況調査を実施。
- 8月5日 河川班:調査成果とりまとめ。津和野町名賀川本川の現地調査。
砂防班:萩市須佐地区の砂防施設点検、被災状況調査を実施。
道路班:調査成果とりまとめ。萩市弥富地区市道の現地調査。
- 8月6日 第4陣として、現地支援班、河川班(4班)、砂防班、道路班(4班)、広報班(2班)の計12班45名を派遣。(交替及び増員)(9:20本局出発)
河川班:引継ぎ実施。
砂防班:萩市須佐地区の砂防施設点検、被災状況調査を実施。
道路班:引継ぎ実施。
- 8月7日 萩市へ被災状況調査結果の報告・引渡。
河川班:津和野町名賀川の被災状況調査。
砂防班:津和野町名賀川の被災状況調査。
道路班:萩津和野線の被災状況調査。
- 8月8日 河川班:津和野町名賀川の被災状況調査、調査成果とりまとめ。
砂防班:津和野町名賀川の被災状況調査、調査成果とりまとめ。

- 道路班：県道萩津和野線、町道被災状況調査、調査成果とりまとめ。
- 8月9日 河川班：津和野町名賀川の被災状況調査、調査成果とりまとめ。
砂防班：津和野町名賀川の調査成果とりまとめ。
道路班：県道萩津和野線、町道の調査成果とりまとめ。
- 8月10日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡準備。
- 8月11日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡。

【近畿地方整備局】

- ・TEC－FORCE 被災状況調査班、応急対策班等
- 10班 全26名。照明車5台、対策本部車1台
- 9班 全23名。
- 29日 11：00 中国道安富PAに集合。
- 17：00 島根県益田県土整備事務所に到着。災害対策会議参加。
- 30日 9：30 高津川の直轄境から本川上流へ向け、被災状況調査に着手（5班体制）。
- 31日 指揮班・津和野町役場日原第2庁舎において、現地調査に入る前の調整を行う（調査箇所確認・台帳・図面等の受け取り）
- 8：50 津和野土木事業所に集合し、昨日の調査進捗状況等について打合せ・打ち合わせ終了後
- 河川2班は高津川での残調査を実施。
- その他4班（道路1,2,3班、河川1班（砂防班含む））は津和野町役場日原第二庁舎に集合し、打ち合わせ後、現地調査に着手。
- 12：30 道路班が津和野町所管の道路102.5km、河川14.8kmの調査開始。
- 8月1日 河川班：高津川上流の津和野町木部地区の調査を実施。
- 道路班：津和野町畑迫箇所の調査、津和野小川地区の調査を実施。
- 機械班：国道191号 萩市須佐で照明車稼働を7月31日19:30～8月1日夜明けまで稼働。その後、近畿地整に17：00帰還。
- 8月2日 河川班：高津川支川被災調査、引き続き木部南地区の被災調査を実施。
- 道路班：木部北地区の被災調査を実施、津和野・小川地区、畑迫地区の被災調査を実施。

- 8月3日 河川班：高津川支川被災調査、津和野町木部南地区の河川・道路被災調査を実施。
道路班：津和野町木部北地区、津和野・小川地区、畑迫地区の道路被災調査を実施。
- 8月4日 指揮班：津和野町名賀地区の現地状況の確認。
河川班：高津川支川被災調査、津和野町木部南地区の河川・道路被災調査を実施。
道路班：津和野町木部北地区の道路被災調査、津和野・小川地区、畑迫地区の調査とりまとめを実施。
- 8月5日 指揮班：各班の作業状況管理。
河川班：調査成果とりまとめ。
道路班：調査成果とりまとめ。
第3陣派遣（23名 交替）。
- 8月6日 指揮班：引継ぎ実施。
河川班：引継ぎ実施。
道路班：引継ぎ実施。
- 8月7日 指揮班：各班の作業状況管理。
河川班：津和野町名賀川の被災状況調査。
道路班：津和野町畑迫地区の被災状況調査。
- 8月8日 指揮班：各班の作業状況管理。
河川班：津和野町名賀川の被災状況調査。
道路班：津和野町畑迫地区調査成果とりまとめ。
- 8月9日 指揮班：津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡準備。
河川班：帰還。
道路班：帰還。
- 8月10日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡準備。
- 8月11日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡。

【四国地方整備局】

- TEC－FORCE 被災状況調査班、応急対策班等派
6班 全25名。
29日14：00 四国本局発。

- 17:25 中国地方整備局到着。本部にて打合せ。
- 30日 7:00 山口県庁、萩市むつみ総合事務所、同市須佐総合事務所
へ向け出発。
- 9:15～ 県庁で打合せ。各出先事務所で打合せ。
- 10:40 道路班調査開始。特に道路班は、(県より早く応急復旧
をまとめてほしいとの要望を受けており、)日没間近まで
しっかり、現地調査を行うとのこと。
- 11:15 河川班、砂防班調査開始。
- 31日 道路班1:萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理(災害概要調
査)。
- 道路班2:萩市須佐地区 現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 河川班、砂防班:萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理(災害
概要調査)。
- 広報班:現地調査班に随行。
- 総合指令班:山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月1日 道路班1:萩市弥富地区の現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 道路班2:萩市須佐地区の現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 河川班、砂防班:萩市むつみ地区資料整理(災害概要調査)。
- 広報班:現地調査班(萩市須佐、弥富地区を予定)に随行。
- 総合指令班:山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月2日 道路班1班:萩市弥富地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 道路班2班:萩市弥富地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 河川班:萩市田万川地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 砂防班:萩市むつみ地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 広報班:現地調査班に随行。
- 総合指令班:山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月3日 道路班1班:萩市弥富地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 道路班2班:萩市須佐地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 河川班:萩市田万川地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 砂防班:萩市むつみ地区現地調査及び資料整理(災害概要調査)。
- 広報班:現地調査班に随行。
- 総合指令班:山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月4日 道路班1班:萩市弥富地区資料整理(災害概要調査)。
- 道路班2班:萩市須佐地区資料整理(災害概要調査)。
- 河川班:萩市田万川地区資料整理(災害概要調査)。
- 砂防班:萩市むつみ地区資料整理(災害概要調査)。

広報班：現地調査班に随行。

総合指令班：山口県庁にて TEC-FORCE 支援。

8月5日 各班帰還。

8月7日 萩市へ被災状況調査結果の報告・引渡。

【九州地方整備局】

・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等

9班 全36名。照明車2台、排水ポンプ車2台、衛星通信車1台、ku-SAT
1台、待機支援車1台

→7班 全31名。待機支援車1台

29日10:35 九州本局発。

13:15 山口河川国道へ到着。

排水ポンプ車2台、待機支援車1台は防府国道維持（出）
へ移動。照明車1台は萩国道（出）へ。照明車1台山口
国道維持（出）へ。

20:30 衛星通信車1台を萩市須佐箇所では稼働開始。継続稼働中。

20:15 照明車1台を山口市阿東町に派遣し23:05まで稼働。

30日 9:00 萩市の田万川地区等の被災状況調査実施予定。

県道332号、県道14号、萩市田万川支所の周辺と大
きくは3箇所では活動開始。

31日 河川班②：県道14号 高岩橋の仮復旧工法の検討、成果品引き渡し
予定。

道路班②：県道332号 十種ヶ峰の復旧工法の検討、成果品引き渡
し予定。

河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所 管内の被災
箇所調査を 継続。

情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。

14:00 九州地整からの排水ポンプ車2台、照明車2台の帰還を
決定。

→18:40排水ポンプ2台、19:40照明車2台を九州地整（九
州技術事務所）に帰還。

8月1日 ・河川班②：県道14号成果品引き渡しを実施。その後、萩市田万
川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。

・道路班②：県道332号の復旧工法の成果品引き渡しを実施。
その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。

- ・河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査継続。
 - ・情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。
 - ・17:00から中国地方整備局災害対策本部へ現地進捗状況の報告を実施。
- 8月2日
- ・河川班①②、道路班①②③、砂防班：田万川総合事務所管内の被災箇所調査を継続。
- 8月3日
- ・河川班①：田万川総合事務所管内の被災箇所調査、調査成果のとりまとめを実施。
 - ・河川班②：田万川総合事務所管内の被災箇所調査成果のとりまとめを実施。
 - ・道路班①②③：田万川総合事務所管内の被災箇所調査成果のとりまとめを実施。
 - ・砂防班：田万川流域管内の被災箇所調査を継続実施。
 - ・砂防班は九州地整のヘリコプター「はるかぜ号」から田万川流域管内の上空調査を実施。
- 8月4日
- ・河川班①②、道路班①②③：田万川総合事務所管内の被災箇所の調査成果の取りまとめ実施。
 - ・砂防班：田万川流域管内の被災箇所調査成果とりまとめ実施。
- 8月5日
- 河川班①②：萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査。
砂防班：萩市田万川流域内の被災状況調査。
道路班①②③：津和野町内の被災状況調査。
第2陣派遣（8月4日先発3名、5日34名 交替）。
- 8月6日
- 河川班①②：引継ぎ実施。
砂防班：引継ぎ実施。
道路班①②③：引継ぎ実施。
- 8月7日
- 萩市へ被災状況調査結果の報告・引渡。
河川班①②：萩市田万川総合事務所管内の調査とりまとめ。
砂防班：萩市田万川流域内の調査とりまとめ。
道路班①②③：萩津和野線の被災状況調査。
- 8月8日
- 河川班①②：津和野町名賀川の被災状況調査。
砂防班：津和野町名賀川の被災状況調査。
道路班①②③：津和野町内の調査成果とりまとめ。
- 8月9日
- 河川班①②：津和野町名賀川の調査成果とりまとめ。
砂防班：津和野町名賀川の調査成果とりまとめ。
道路班①②③：津和野町内の調査成果とりまとめ。

8月10日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡準備。

8月11日 津和野町、島根県益田県土整備事務所への被災状況調査成果の引渡。

7. 災害対策用資機材の支援等

- 7月28日 島根県から災害対策用機械の支援要請
内容：県道13号の護岸崩落箇所の夜間照明として照明車1台派遣。
場所：県道13号萩津和野線（津和野町地内）
期間：7月28日～29日
対応：浜田河川国道事務所
- 7月29日 山口県から災害対策用機械の支援要請
内容：国道315号の応急対策時の夜間照明として照明車1台派遣。
場所：山口市阿東嘉年下
期間：7月29日
対応：九州地方整備局
- 7月30日 島根県から災害対策用機械の支援要請
内容：県道13号の応急対策時の夜間照明として照明車2台派遣。
場所：県道13号萩津和野線（津和野市鷺原）
期間：7月30日～（8月9日帰還）
対応：浜田河川国道事務所
- 8月1日 山口県から災害対策用資材提供の要請
内容：護岸洗掘部の応急対策のため大型土のう（約1t/袋）280袋を提供。
運搬用ダンプトラック17台、積込用クレーン2台使用。
場所：国道315号 山口県山口市阿東徳佐下
対応：浜田河川国道事務所
- 8月2日 山口県から災害対策用機械の支援要請
内容：国道315号の応急対策時の夜間照明として照明車2台派遣。
場所：国道315号 山口県山口市阿東徳佐下
期間：8月2日夜～8月7日朝（8月7日帰還）
対応：三次河川国道事務所
- 8月2日 8月1日大雨による島根県から災害対策用機械の支援要請

内容：国道375号の応急対策時の夜間照明として照明車2台派遣。

場所：国道375号 島根県美郷町粕淵

期間：8月4日～

対応：中国技術事務所、浜田河川国道事務所

○8月2日 山口県から災害対策用機械の支援要請

内容：県道310号の道路路面の清掃として路面清掃車1台、散水車1台派遣。

場所：県道310号（山口市阿東嘉年下～山口市阿東生雲東分）

期間：8月5日～8月6日（8月6日帰還）

対応：広島国道事務所

○8月2日 津和野町から災害対策用資機材の支援要請

内容：応急対策に必要な土のう製作のため、土のう製作用機器8個型1台、16個型1台を搬送。

場所：津和野町日原地区

期間：8月3日～

対応：中国技術事務所

○8月4日 山口県から災害対策用機械の支援要請

内容：国道315号の道路側溝の清掃として側溝清掃車1台派遣。

場所：国道315号（萩市須佐地区、田万川地区）

期間：8月5日（8月5日帰還）

対応：広島国道事務所